様式４　　〈推進校 → 一宮市社協〉

2024年度　一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学　校　名	一宮市立奥中学校	学校Ｎｏ.	61

１．福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

本校は、「学び合い、認め合い、輝き合い」を教育理念の中核に据え、豊かな人間性の涵養を目標とした多岐にわたる活動を展開する。福祉教育においては、体験活動や講演会を通じ、多角的な思考力と社会貢献への積極性を育むことを主眼とする。これらの活動は、生徒の自律的な成長と社会参加を促すことを目指し、綿密な計画と組織的な推進体制のもとで実施される。

２．福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

(1) エコキャップ回収活動

全学年の昇降口にペットボトルキャップ回収ボックスを設置し、回収したキャップをNPO法人へ寄贈する活動を実施した。この活動は、資源の有効活用と国際貢献を組み合わせたものであり、生徒の社会意識を高める効果が期待される。福祉委員会は、ポスター作成や回収数集計を通じて、学校全体の参加を促進した。

(2) 福祉実践教室

1年生を対象に、車いす操作、手話、点字、高齢者疑似体験、視覚障害者ガイドヘルプの5つの体験型ワークショップを実施した。生徒は、専門講師の指導のもと、各体験に真摯に取り組み、多様な他者の視点や困難を理解する貴重な機会を得た。事後アンケートでは、体験を通じて得た学びを今後の生活に活かしたいという声が多数寄せられた。

(3) 募金活動

2023年度に発生した能登半島地震を受け、生徒会が中心となり、被災地支援のための募金活動や赤い羽根の募金活動を実施した。生徒たちは、登校時に昇降口で募金を呼びかけ、集まった義援金は生徒代表により社会福祉協議会へ寄付された。

(4) 福祉体験プログラム

希望者を募り、夏休み期間中に高齢者・障害者福祉施設や児童福祉施設でのボランティア活動を実施した。参加生徒は、施設利用者との交流やレクリエーション活動を通じて、多様な他者と関わり、社会の一員としての役割を実感することができた。

３．福祉教育の成果と今後の課題

昨年度は多くの活動を実施することができた。特に、上記の体験型ワークショップやボランティア活動は、生徒の共感性や社会性を育む上で大きな成果を上げた。また、今後の展望として、体験機会の拡充と生徒の主体性を育む活動の推進が挙げられる。募金活動やエコキャップ回収活動においては、生徒の自主性に依存する部分が大きいため、生徒会や各委員会が連携し、生徒全体の意識向上を図る必要がある。また、体験活動の機会を拡充し、より多くの生徒が社会参加の喜びと意義を体験できるようにすることが重要である。

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

様式４　　〈推進校 → 一宮市社協〉

2024年度　一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学　校　名	一宮市立萩原中学校	学校Ｎｏ.	62

１．福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

本校の教育目標は，『校訓「礼儀・感謝・責任」の精神を学校教育の全面に生かし，知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましく「生きる力」をもった生徒を育成する』である。そして，本年度の重点努力目標では，豊かな心の育成を目指す中で「福祉体験や職場体験，福祉体験ボランティア活動に取り組む」などの目標を立て努力してきた。これまでの経験と反省を踏まえて，「福祉実践教室」に取り組んできた。今年度より，「職場体験学習」を再開し，一部の生徒ではあるが，福祉施設での職業体験を実施することができた。子どもたちにいろいろな活動を通して，様々な体験をさせ，福祉教育の充実を図った。

○年間通しての美化活動やあいさつ運動
○全校での道徳教育や人権教育の取組
○学校行事「体育祭」や「合唱コンクール」の取組
○福祉実践教室　　○職場体験学習
○緑化運動　○資源回収（年2回）　　など

２．福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

(1)花いっぱい運動（チューリップ祭り）

潤いのある学校生活の環境づくりの一環として，季節の花を花壇で育てたり，校門付近や各学年の昇降口などにプランターを設置したりした。また，学校行事の際には，会場やグランドを季節の花で飾り，緑あふれる学校づくりに努めた。また，毎年秋に，地域の方からチューリップの球根を寄付していただいている。そのチューリップの球根を，１年生が一人１つのプランターに植え，次年度の入学式をきれいな花で飾ろうという取組を実施している。

11月中旬　　企画委員会及び職員会議で実施内容の検討。
12月初旬　　朝のSTに１年生各クラスでプランター作りを実施する。

(2)人権読み聞かせ週間

毎年，PTAのボランティアの方々に協力を依頼し「読み聞かせ」を行っている。今年度も人権週間に合わせ，人権に関わる本を紹介したり，本に興味をもたせたりしている。読書を通じて豊かな感性，情操や思考力を育てていきたいと考えている。また，この期間に講師の方をお招きし，人権講演会も併せて行い，人権教育の充実を図っている。

10月～　　読み聞かせボランティア募集。
11月中旬　　ボランティアの方々との打合せを行う。
11月下旬　　全学年各クラスで人権読み聞かせ実施する。

(3)福祉実践教室（１年生）

毎年，１年生を対象に福祉実践教室を行っている。一宮市社会福祉協議会と連携し，手話や点字，車いす，ガイドヘルプなどの体験を行うとともに，障がいへの理解を図っている。生徒たちの取り組む姿勢はとてもよく，しっかりと話を聞いたり，各講座に真剣に取り組んだりすることができている。

9月 2日(月)　職員会議で検討。
10月15日(火)　学年会議で検討し活動計画を立てる。
11月21日(木)　「福祉実践教室」についてオリエンテーションを行い，福祉に関しての資料を読む。
11月25日(月)　「福祉」や「ボランティア」について，図書館やchromebookを利用し，調べ学習を行う。
11月29日(金)　「福祉実践教室」を開催。
12月 2日(月)　社会福祉実践教室・レポートまとめをする。

３．福祉教育の成果と今後の課題

長期休暇や休日のボランティアの募集に応募する生徒が大変多く，ボランティアに対する意欲の高さがうかがえる。参加した生徒は，ボランティア活動を終えると，充実感にあふれた表情をしていた。その後の生活を見ていると，困っている仲間に手をさしのべたり，まわりを見て行動したりするなど，ボランティアを通して，成長した姿が見られた。また，１年生で実施している福祉実践教室においても，意欲的に活動する生徒が大変多く，日常生活においても，体験的に学んだことを生かそうとする姿が見られた。様々な福祉教育を通して，着実に豊かな心が育まれていると見られる。今後も継続的に，ボランティアや福祉実践教室などの福祉教育を推進し，豊かな心を育んでいきたい。

※上記内容を含むものであれば，本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また，可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

様式４

＜推進校→一宮市社協＞

令和６年度　一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学　校　名	一宮市立千秋中学校	学校No.	63

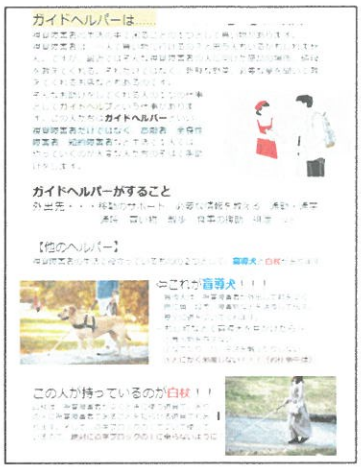
１　福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

本校では，知・徳・体の調和のとれた人間形成を図り，心身ともに健康で思いやりの心とたくましく生きる力をもつ生徒の育成を目指している。その一環として，地域の介護福祉施設との連携を図るなど，地域に密着したボランティア活動を意欲的に進めている。

２　福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

○　福祉実践教室（１年生）

毎年１年生は，福祉について学習を行っている。事前に調べ学習を行った後，車いす，手話，点字，視覚障がい者ガイドヘルプ，高齢者疑似体験，要約筆記の体験活動を行った。積極的に学ぶ姿が見られ，障がいをもった方への理解を深めることができた。その後の総合的な学習の時間で、事後学習としてレポート作成を行い、学級内で発表会を行った。



○　「おもちゃ図書館なかよし」への参加

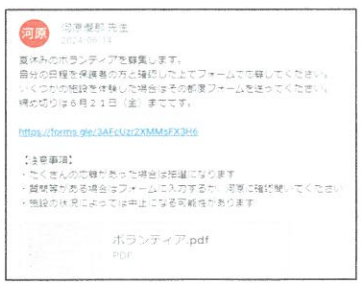
夏季休業中に，丹陽町区内にある「おもちゃ図書館なかよし」へ赴き，おもちゃ図書館の体験活動を行った。今年度は，２名の生徒が参加し，おもちゃを整理したり，一緒に遊んだりして，子どもたちとの交流を深めた。

○　「青少年等ボランティア福祉体験事業」への参加

今年度は，「障害福祉サービス事業所あおぞら」をはじめとした４か所の施設へ７名の生徒が参加した。それぞれの施設で利用者の方とコミュニケーションを図ったり，職員の方の仕事を手伝ったりして，デイサービス施設の体験活動を行った。

３　福祉教育の成果と今後の課題

今年度より各学年の Classroom を活用してボランティアの参加募集を行い，福祉に関心のある生徒が申込みやすくなったため，例年より多くの希望者が集まった。しかし，まだ全校生徒の関心は低いと感じられる。来年度も希望生徒が参加しやすくなる環境整備をしていくとともに，福祉に関する学習を継続的に行い，全校生徒の福祉への意識を高めていきたい。



様式４　　〈推進校 → 一宮市社協〉

令和６年度　一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学　校　名	一宮市立西成東部中学校	学校Ｎｏ.	64

１．福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

目　標

障害のある人々や高齢者との交流を通して、お互いの良さを認め合い、心豊かな生活が送ることができるようにする。

計　画

・全校生徒で福祉実践教室に取り組む。
・生徒会を中心にアルミ缶エコキャップ回収や赤い羽根の共同募金に積極的に取り組む。

推進体制

・福祉実践教室は、福祉教育担当教師を中心に全校体制で進める。
・アルミ缶エコキャップ回収や赤い羽根の共同募金は、生徒会活動担当教師が中心となって進める。
・その他、ボランティア活動は、福祉担当教員が中心となり、他の教職員の協力を得て進める。

２．福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

・各種ボランティア活動への参加・・・・・・・・・・７月２２日～２５日
・認知症サポーター養成講座・・・・・・・・・・・・１０月１７日
・福祉実践教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２月５日
・生徒会による赤い羽根の共同募金・・・・・・・・・１２月１０日～１２日
・全校生徒によるアルミ缶エコキャップ回収・・・・・毎月３日間
・あいさつ運動へ参加・・・・・・・・・・・・・・・毎月第３月曜日

３．福祉教育の成果と今後の課題

・アルミ缶エコキャップ回収や赤い羽根の共同募金に取り組むことで、社会貢献に対する生徒の意識が高まった。
・あいさつ運動に参加し、募金同様社会貢献に対する生徒の意識が高まった。
・ボランティア活動については、希望する生徒全員が参加できるわけではないため、十分とは言えないが、個人的に参加している生徒もおり、意識が高まっていると思う。
・来年度も、ボランティア活動に参加する機会を増やしていきたい。
・福祉実践教室では、講師の先生方の話をよく聞いて、福祉に対する考え方や障害のある方への接し方などをしっかりと学ぶことができた。
・今年度は認知症サポーター養成講座を実施し、認知症についての知識や高齢者への接し方などを学ぶことができた。

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

様式４　　＜推進校→一宮市社協＞

2024 年度　一宮社会福祉推進校実践活動報告書

学校名	一宮市立大和南中学校	学校 No.	６５

１　福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

本校では、校訓である「至誠」「自律」「敬愛」の心の育成をめざし、教師・生徒相互の信頼を深め人間性豊かな生徒を育成するための様々な活動を行っている。昨年度に引き続き、社会福祉への関心を深め、ボランティア精神を養い、実践力を身に付けさせる活動を進めた。

２　福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

（１）環境美化委員会（ボランティア委員会より改称）による校内活動

○　環境美化委員による清掃活動や花壇・プランターに水やりを行う活動を年間通して実施した。委員会の時間に校内の花壇の整備やグランドの草むしり、資源再生回収などを実施した。

（２）社会福祉に対する関心・理解を深める活動

○　福祉実践教室

５月 31 日（金）に１年生対象に福祉実践教室を行った。講師の先生方を招いて、障害がある方の講話を聞いた。また、手話と点字の体験では、真剣な態度で体験に取り組むことができ、助け合いの心や思いやりの心を学ぶことができた。体験後は、「点字の大切さを知った」「障害者との向き合い方を覚えた」という感想が見られた。

○　青少年ボランティア福祉体験学習

夏休みに、「障害福祉サービス事業所　だいち」「特別養護老人ホーム丹陽」「高齢者福祉施設　新和楽荘」「一宮市萩の里　デイサービス事業所」「おもちゃ図書館なかよし」でのボランティア活動に 13 名の生徒が参加した。「たくさん感謝してもらい、とても大きな達成感を得られた」「障害者の人たちも目標をもって前に進もうとしているからすごい」「障害があってもいろいろな体験をして、普通の人のような幸せを感じているのだと分かった」という感想が見られた。

○　いちのみやボランティアフェスティバル 2024 のボランティア

10 月 20 日（日）に、一宮スポーツ文化センターで、いちのみやボランティアフェスティバル 2024 のボランティアとしてのティッシュや風船を配ったり、共同募金を呼び掛けたりした。

○　コスモス祭りボランティア

11 月 24 日（日）に、彦田公園で、コスモス祭りのリサイクルバザーや模擬店、ゲームなどのボランティアとして 17 名が参加した。

３　福祉教育の成果と今後の課題

各ボランティア活動には、多くの生徒が自発的に希望して参加することができた。今後も積極的にボランティア活動に関心をもち、理解を深められるように働きかけをしていきたい。